



子育て世帯の共働き率は年々上昇しています。でも多くの場合、何かあったら仕事をあきらめるのは妻である女性というのが現状です。

また、経済的に厳しい状況におかれているひとり親世帯のほとんどは母子世帯であり、まだまだ女性の立場が弱いと言わざるを得ません。

男女の区別なく仕事と家庭、子育てを両立させるためには行政、企業、事業者の理解と協力が不可欠です。是非、この会議において議論をしたいと思っています。

特定非営利活動法人 北海道子育て支援ワーカーズ
代表理事 豊田 直美

働く場所と自主事業を自分たちで作りにしてきた私たちは、メンバー160名が全員女性です。札幌と札幌近郊で子育て支援活動や事業を行う10の団体が連合を組織する形で運営されています。

地域の子育てひろばや、訪問型保育を通して、子育てをしながら働く子育て家庭に寄り添い、子育ての実情を行政や社会に届けてきました。

私たちの子育てひろば来場者には、近くに見守ってくれる人（ひろば）がいるから第2子第3子を産もうと考える方たちも多くいます。父親の参加も見られるようになってきました。子育てに対する社会の理解を得られるために、さらに発信していきたいと考えています。

特定非営利活動法人 北海道子育て支援ワーカーズ

当法人は、2002年4月に子育て中の人たちが抱える不安や閉塞感をはじめとした子育て家庭をめぐる問題を解決するために、子育て・子育てしやすい社会を目指して設立されました。①～③の3つの活動を支えるために④～⑦の事業を行っています。

- ① 親をささえる
- ② 遊びを伝える
- ③ 子育て・子育て支援を学ぶ
- ④ 子育てに関する情報交流活動
- ⑤ 保育事業の実施
- ⑥ 協働事業の実施（ファミリーサポート事業など）
- ⑦ 講師派遣事業の実施